

探究・校務改革
支援補助金
2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社Study Valley

【サービス名称】

TimeTact

【サービスの支援項目】

カテゴリ-1 探究的な学びの高度化 メインサービス

2026年1月



「探究」にフォーカスした 社会と繋がる教育



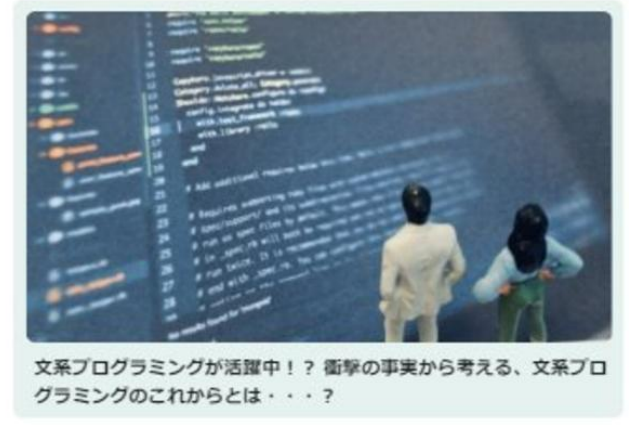
課題の設定からまとめ・表現までのプロセスを全て網羅したプラットフォームであるTimeTactと、
企業課題をコンテンツとして掲載し社会とのつながりを提供

TimeTact × 企業課題



探究学習プラットフォーム

探究学習特化型の学習管理・授業支援ツール
生徒の自発的な学習を促進
先生の授業実施の効率化も支援



文系プログラミングが活躍中！？衝撃の事実から考える、文系プログラミングのこれからは・・・？

探究学習特化型の学習管理・授業支援ツール
生徒の自発的な学習を促進
先生の授業実施の効率化も支援

■ 探究・校務改革支援サービスの概要

1. サービスの概要、特徴

サービス概要 探究学習・校務改革支援プラットフォーム「TimeTact」は、課題の設定からまとめ・表現までの探究プロセスを全てデジタル上で網羅し、企業課題（コンテンツ）と社会のつながりを提供する学習管理システムです。

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

メリット: 生徒の自発的な学習を促進するとともに、先生の授業準備・管理コストを大幅に削減します。

類似サービスとの違い: 単なる管理ツールではなく、実社会の「企業課題」を学習コンテンツとして内包しており、学校と企業の接点をデジタル上でシームレスに提供できる点が最大の特徴です。

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

学習効果: 生徒が実社会の課題に触れることで、論理的思考や課題解決能力を養います。また、学習記録がデジタルで蓄積されるため、振り返りが容易になります。

効率化・利便性: 複数のクラスや企業プロジェクトの進行状況を一元管理でき、評価やフィードバックの工数を大幅に削減します。

(3) サービスの活用場面

「総合的な探究の時間」における企業連携プロジェクトの実施。

校内での学習ログ（ポートフォリオ）の蓄積と管理。

企業や大学を招いた外部発表会（成果発表会）の実施。

(4) 1サービスあたりの標準販売価格

① 価格

生徒1人あたり月1,000円（税別）相当

② 含まれる機能（標準）

探究計画・実施・成果管理
AIフィードバック（一定クレジット）
進捗管理（タグ）
探究プログラム・企業PJ活用
教員管理・確認機能
企業プロジェクトの提供

③ 含まれない（別途費用）

出張授業
授業代行
個別伴走・作業代行
特別カスタマイズ
オリジナルプログラムの提供

2. サポート内容（サービスの利用に際しての自社のサポート体制等）

導入・初期設定サポート: システムのセットアップから、先生方への操作説明を丁寧に行い、スムーズな運用開始を支援します。

プロジェクト進行支援: 学校と企業のマッチング調整や、探究プロジェクトのスケジュール設計に関するアドバイスをを行います。

カスタマーサポート: 専任のサポート担当が、利用中の不明点やトラブルに対して、チャットやWeb会議等で迅速に対応する体制を整えています。

成果発表の伴走: テレビ局等の外部メディアと連携した成果発表会の機会提供など、学習の出口に向けた伴走支援を行います。

教職員・生徒のそれぞれで、探究を進める上で抱える課題に対してサポートを実施

児童生徒・教職員が抱える課題

探究学習プログラムにおける課題

- 教職員は、指導経験不足（答えのない課題を教えたことがない）
- 学習管理も煩雑

探究学習における学習記録における課題

- 議論や調査内容など取組んだ記録が散乱し、生徒自身がまとめや振り返りがしづらい

探究学習における社会接続における課題

- 「生きた社会課題」の提供不足
- 教科書で社会課題への取り組みが困難

サービスが果たす役割

業務負荷の低減

- 年間のカリキュラム計画や各授業での実施内容をツール上で作成、ワンクリックで確認可能
- 生徒の授業理解度・学習内容や、探究プロセスの進捗状況などもツール上で一括管理

学習方法の支援

- 紙や様々なソフトデータなどで生徒の学習記録が散乱している状態から、ツール上で一貫した探究プロセスの実施
- グループ協議ツールなど、探究プロセスに必要な機能を提供

社会との接続

- 社会における答えのない問いを実体験するため、企業が目の当たりにしている生きた課題を提供
- 企業からのフィードバックや交流機会なども設定し、社会に開かれた学びへ

■ 探究・校務改革支援補助金における活用場面

サービスの活用風景・授業の流れ

探究プラットフォーム TimeTactのシステム利用

【全教員のできる探究】
対象学年の全教員がアクセスし、生徒の取り組みを管理可能です。探究学習のノウハウが不足した先生方でも探究学習の授業支援ツールとして円滑に活用できます。

【学びを深める各種機能】
探究専用の生成AI機能「探究ロボ」で生徒の取り組みをガイドします。生徒はTimeTactに取り組み内容を蓄積し、サイクルを円滑に回せる様にシステムで支援しています。

【複数校の交流支援】
複数校が参加するオンラインでの最終発表会をイベント設計しています。

学校に合わせたプログラムのご提供

各校の状況に合わせて、TimeTactの効果的な活用方法を組み込んだオリジナルのカリキュラム・教材をご提供させていただきます。

主に、以下の資料をご提供いたします。

1. カリキュラム設計
2. 探究プログラムの提供
3. スライド・動画資料の提供
4. 指導ガイド
5. TimeTactの操作資料

TimeTactにカリキュラム・教材をプリセットした形でご提供させていただきます。

活用サポート

TimeTact上に蓄積された学習状況をふまえたうえで、TimeTactの使い方のご説明を丁寧に行います。



本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	20	学校等教育機関数	21校
---------------	-----------	-----------------	------------

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	山口県教育委員会	山口県立岩国高等学校	山口	高等学校	1,2,3	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
2	埼玉県教育委員会	埼玉県立杉戸高等学校	埼玉	高等学校	1,2,3	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
3	山梨県教育委員会	山梨県立甲府昭和高等学校	山梨	高等学校	1	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
4	甲府市教育委員会	甲府市立甲府商業高等学校	山梨	高等学校	2,3	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
5	福岡県教育委員会	福岡県立門司学園中学校	福岡	中学校	3	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
6	愛媛県教育委員会	愛媛県立西条農業高等学校	愛媛	高等学校	1,3	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
7	財団法人高知中央高等学校	高知中央高等学校	高知	高等学校	3	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
8	熊本県教育委員会	熊本県立菊池高等学校	熊本	高等学校	1	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
9	静岡県教育委員会	静岡県立相良高等学校	静岡	高等学校	1	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
10	島根県教育委員会	島根県立江津工業高等学校	島根	高等学校	2	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
11	宮崎県教育委員会	宮崎県立高千穂高等学校	宮崎	高等学校	2	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
12	栃木県教育委員会	栃木県立那須拓陽高等学校	栃木	高等学校	1.2.3	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
13	新潟県教育委員会	新潟県立村上桜ヶ丘高等学校	新潟	高等学校	1	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
14	広島県教育委員会	広島県立西城紫水高等学校	広島	高等学校	1.2.3	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
15	京都府教育委員会	京都府立菟道高等学校	京都	高等学校	1.2	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
16	大阪府教育委員会	大阪府立枚方なぎさ高等学校	大阪	高等学校	3	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
17	和歌山県教育委員会	和歌山県立新翔高等学校	和歌山	高等学校	1	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
18	福岡県教育委員会	福岡県立遠賀高等学校	福岡	高等学校	2	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
19	香川県教育委員会	香川県立三本松高等学校	香川	高等学校	1	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
20	長崎県教育委員会	長崎県立長崎北陽台高等学校	長崎	高等学校	2	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った
21	学校法人月江寺学園	富士学苑高等学校	山梨	高等学校	1	総合的な探究において、TimeTactを用いて授業の進行を行った

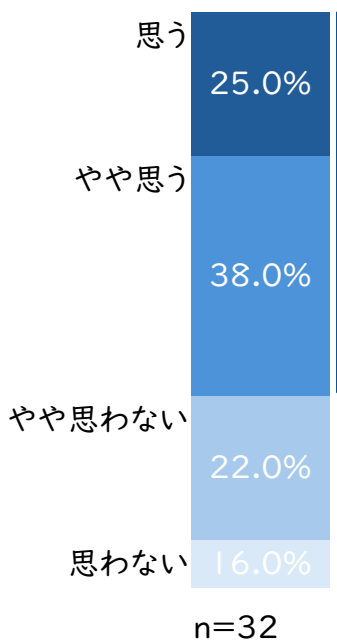
■【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定量的効果検証

教職員の探究指導での目標達成の授業計画の充実に加え、業務負荷の低減にもつながっている

授業準備・実施などの業務負荷を低減

アンケート質問
 探究授業の準備、実施の業務負荷が導入前と比べて、減っていると思いますか？)

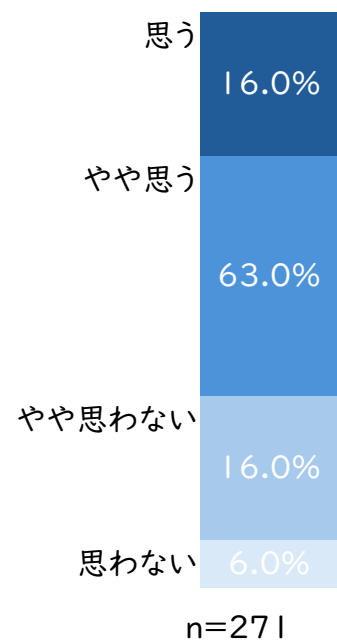


63.0%

- 導入校からのアンケート結果では、約60%の学校で、TimeTactサービスの導入によって、業務負荷の低減が図られた(低減に至らなかったプロダクト要因の解決策は後述)
- TimeTactで一元管理が可能となるため、授業準備が不要、学習状況把握が容易
- 授業内容は、TimeTact教職員ページで、今後の流れや授業の意図等が記載されているため学年全体への申し送りをスムーズに実施可能

生徒の探究活動の質向上に貢献

アンケート質問
 TimeTactは生徒の探究活動の質向上に役立っていると思いますか？



79.0%

- 導入校からのアンケート結果では、約80%の学校で、TimeTactは生徒の探究活動の質向上に貢献していた(充実に至らなかったプロダクト要因の解決策は後述)
- TimeTactで現在社会にある企業に課題を提供してもらった教材を使用することによって探究学習が深まる
- 出張授業(企業の発表会同席)・企業によるテキストフィードバックによって、高校生が直接企業の意見をもらえる機会によって、授業の質の向上

【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定性的効果検証

埼玉県立杉戸高等学校

TimeTact活用前

課題

授業準備において

- ①担当する教員の仕事量が増える
- ②大半の教員は教科・クラス・部活動等で手一杯で、探究の時間にまで意識を回せない

その結果

学年会で探究の時間等を共有しても、いざ探究の時間になると何をするかわかっていない教員が多い

**TimeTactを使うと
教員の仕事が減り、生徒が自走できる**

TimeTact活用後

授業ナビの活用による解決

- ①授業毎にプログラムが設定され、ワンクリックで授業を実施できる
- ②教材や提出物なども個別に設定することができる
 - ・先生が授業前に教材の確認がしやすい
 - ・生徒が年間の流れや授業の流れを確認しやすい

<授業ナビ>



教職員



“TimeTactを使うことで、授業スライド作成や教員への説明が大幅に削減され、準備が非常に楽になったという実感がある。特に「次回何やるんだっけ?」という問い合わせへの対応が不要になった点を高く評価している”

“生徒が自分で進捗を確認し、必要な教材・タスクがすぐわかるため、教員が個別に指示を出す負担が減った。探究活動が生徒主導で進むようになり、授業の質が安定した点にメリットを感じている”

“TimeTactのおかげで、学年全体での探究の流れが見える化され、他教員との連携が取りやすくなった。特に「年間計画の見通しが立つ」点を教員は多く評価している”

“教材・スチームライブラリ・ポスター機能などが揃っており、探究の指導案作成や教材研究の時間が削減できる点を高く評価している。「スライドを一から作らなくてよいのが助かる」という声があった”

“ポスター機能やKJ法ができるAIリアルなど、グループワークの質を高める機能が便利という声があった。紙のワークではなくデジタルで完結するため、運営がスムーズになった点も高評価”

生徒



自分で問いを立てられるようになった

「正解を探すのではなく、“何を問いにするか”から考えるようになりました。最初は難しかったですが、自分たちでテーマを深めていく面白さを感じました。」

考えを言語化する力が伸びた

「調べるだけで終わらず、“なぜそう考えたのか”を説明する力がつきました。発表を通して、自分の考えを筋道立てて伝える意識が強くなりました。」

失敗から考え直せるようになった

「思うように進まないこともありましたが、その都度振り返って改善することができました。うまくいかない経験も大事だと気づきました。」

社会とのつながりを実感した

「企業の方の話を聞いて、学校での学びが社会とつながっていると実感しました。将来について考えるきっかけになりました。」

プロダクト利用説明、探究コンテンツ内容を改善していく

直面した課題

1. 導入時の課題

課題: 初期設定・操作習熟の工数増

プラットフォーム導入時、学校ごとのクラス編成や教員アカウントの設定に時間を要し、運用開始までのリードタイムが長くなる傾向があった。

2. 実施していく中での課題

課題: 企業プロジェクトの内容と生徒レベルのミスマッチ

テキストベースの課題提示だけでは、生徒が課題背景に共感しづらかったり、プロジェクトの難易度がクラスの習熟度と合わないケースが見受けられた。

3. 実施した結果、新たに顕在化した課題

課題: 成果物の「質」のばらつきと評価・FBの負荷

多くの生徒が同時に探究活動を行う中で(例: 約124件の成果物)、全ての成果物に対して企業が質の高いフィードバック(FB)を継続的に提供し続ける運用の維持が課題となった。

解決するための改善策

1. 導入時の課題に対する改善策

改善策: 活用シーン別マニュアルの整備とCS体制の強化

頻出する操作シーン(提出物確認、調査記録検索など)に特化した逆引きマニュアルを整備する。

カスタマーサクセス(CS)チームと学校側の接点を増やし、初期段階で操作方法を直接レクチャーする伴走型支援を強化する。

2. 実施していく中での課題に対する改善策

改善策: コンテンツの多角化とカリキュラムの柔軟化

参考リンクの拡充や動画資料の活用により、課題背景を視覚的に理解しやすく改善する。

学校の進捗状況や生徒のレベルに合わせて、取り組むコマ数を柔軟に増減できる「選択型カリキュラム設計」を提案する。

3. 実施した結果、新たに顕在化した課題に対する改善策

改善策: フィードバックの仕組み化と段階的公開

全ての成果物を一律に扱うのではなく、まずは特定の代表校(例: 巨摩高校、青洲高校、駿台甲府高校など)から段階的に連携を進め、フィードバックの負荷を分散させつつ成功事例を蓄積する運用の仕組み化を推進する。

■会社概要

社名	株式会社Study Valley
代表	代表取締役 田中悠樹
設立年月	2020年1月23日
本社	東京都江戸川区中葛西5-20-14 水戸ビル2F
資本金等	185,000,000円(資本準備金含む)
売上高等	非公開
従業員数	6名
事業内容	探究学習プラットフォームTimeTactの開発・運用

■お問い合わせ窓口

担当:お問い合わせ窓口

電話:070-8522-0601

Mail:welcome@studyvalley.jp

